2．開発のねらい

VIVIOは、'92年発売後4年半を経過したが、その間軽自動車市場は新ジャンル乗用ワゴンの出現により大きく変化している。この様な環境の中で今回の新型VIVIOは狙いをセダン系に絞りこみ、

1) ビストロを一つのシリーズ商品として強力に訴求できる品揃えを図る。

2) ヴィヴィオシリーズは若さと軽快・スポーティさを再訴求する。

この2点を骨格に、装備仕様や機能の充実と内外装色のリフレッシュ化により、強い商品特質の確立と商品向上を図りました。

3．商品概要

■ 車種構成

車種			2WD							4WD					
			SOHC						DOHC	SOHC					DOHC
			NA				SC			NA			SC		
			キャブレータ		EMPi					キャブ	EMPi				
			5MT	3AT	5MT	ECVT	ECVT	5MT	5MT	セレクティブ5MT	セレクティブ5MT	フルタイムECVT	フルタイムECVT	フルタイム5MT	フルタイム5MT
ヴィヴィオ	セダン3ドア	el－s			○	○					○	○			
		M300			○	○	○				○	○			
		M300-typeS			○	○					○	○			
		RX－R							○						○
		RX－RA													○
		GX－R					○	○					○	○	
		リーパル			○	○					○	○			
	セダン5ドア	el－s			○	○					○	○			
		M300			○	○					○	○			
		GX－L					○								
		リーパル			○	○					○	○			
	バン3ドア	el－s	○	○						○					
		代行車	○	○						○					
ビストロ	セダン3ドア	ビストロシフォン			○	○					○	○			
	セダン5ドア	ビストロ			○	○					○	○			
		ビストロ B-カスタム			○	○					○	○			

■ 変更概要

(1) 車種展開

① ビストロシリーズ

ソフトクラシックなフェースをもったビストロ“シフォン”（3ドア）を新規追加展開。

★ネーミング

シフォン“chiffon”：「婦人服の絹などの柔らかな装飾生地（シフォン織）」の意味で、優しさや温かさをイメージさせるネーミングとしました。

② vivioシリーズ

・セダン系3ドアのel、GX－Lおよび5ドアのem、esを廃止し、3ドアのGX－RにSOHC－SCエンジンの5MT車を展開。

・バン系の2シータ車を廃止。

(2) 機能改善、装備仕様の変更

① RX－R、RX－RA車SC－EMPi DOHCエンジンの性能向上

大型インタークーラーを採用し、冷却性能の向上および通気抵抗の低減を図ると共に、ハイオクガソリン化、点火時期等見直しによる大巾なトルクアップ。

② SC－EMPi SOHCエンジンの点火システムをDLI（ディストリビュータ・レス・イグニッション）に変更。

③ フロントバンパー新製とコンビランプ変更による横一文字のグリルとスクエアーなマスクの採用……（M300－typeSを除くVIVIO NA系およびGX－L）

④ 新フルホイールキャップの採用……（M300－typeSを除くVIVIO NA系およびビストロシフォン）

⑤ オーディオ

・ビルトイン3連装CDオートチェンジャの新装備、CDプレーヤの追加装備等オーディオ仕様、意匠を変更。

⑥ コンビネーションメータ意匠変更

⑦ キーレスエントリシステムの採用……（一部上級車種）

⑧ 空調システムをフルエアミックス化……（全車）

⑨ 内外装色の大巾変更。

・新しいボディ色を5色設定。

・内装はシート生地の見直し。